

全国規模のプレミアムフードの展示会が開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

2025年9月3日(水)から5日(金)に東京ビッグサイトで「第38回グルメショー秋」(主催：ビジネスガイド社)が開催されましたので、その概要を紹介します。

1 グルメショーとは

新しいフードマーケットを切り拓くプレミアムフードの展示会で、既存の食品流通バイヤーや新規参入の異業種バイヤーをターゲットとして春と秋の年2回開催されています。会場内は主に次の5つのエリアで構成されていました。

エリア名	内容
ローカルフード展	各地域で育まれたご当地グルメ、農畜産物、加工食品、飲料、スイーツなどの展示エリア
スタイリッシュフード展	商品の良さだけでなくデザイン、パッケージにもこだわった展示エリア
ウェルビーフード展	プラントベース食品やフードロス削減、健康的な食材など、健康や環境課題に対応した展示エリア
ワールドフード展	本場のワールドグルメの展示エリア
ソリューション展	ダイニングを「豊かに便利に」、「快適に楽しく」するためのアイテム、店舗システム、ツールなどの展示エリア

上記の他、生産者の想いを伝える「ファーマーズプライド展」、個性豊かな商品を展示した「クラフトドリンク&リカー展」、ホームパーティーを演出するフードを集めた「パーティーフード展」などの企画エリアも設けられていました。

2 会場で際立った“地域性を出した展示”

会場ではローカルフード展が最も広く3分の1程度を占めており、同エリアでは地域の商工会が地元産品を展示するブースが半数程度ありました。また、自治体の出展エリアには、高知市と「れんけいこうち広域都市圏」(事務局：高知市)による「こうちプレミアム」があり、高知県内の15市町村31企業が一堂に会して選りすぐりの逸品を展示していました。

本県企業は、ローカルフード展に2社(八丁味噌、ラーメン)、ウェルビーフード展に1社(豆腐関連)が出展していました。八丁味噌のブースでは愛知県の気候風土に根差した独自の味噌であること、ラーメンと豆腐関連のブースでは地元農作物(小麦、大豆)を使用した商品であることなど、愛知らしさを活かした展示が行われていました。



「こうちプレミアム」エリアの様子



本県企業の出展ブース例
(「愛知県碧南市のご当地ラーメン」を掲示)

今回のような全国規模の展示会を通じて、本県産の農産物を使った加工品がより多くの人に認知されることは、本県農業の活性化の一助になると思われます。